

令和4年7月11日

社会福祉法人 函館一条  
利用者・保護者・関係者各位

「ワークセンター一条」職員1名の新型コロナウイルス感染の報告と対応について

7月9日に、社会福祉法人函館一条が運営する通所事業所 ワークセンター一条において、職員1名に新型コロナウイルス感染が確認されました。

経緯を説明しますと、まず7月8日に当該職員の同居家族が発熱し、9日にPCR検査を受け、陽性と診断を受けました。当該職員は無症状ではありますが、9日にPCR検査を行ったところ陽性と診断されました。(当該職員は、家族の発熱により出勤を自粛していたため、9日は事業所に入入りしていません)

感染者となった当該職員とそのご家族は、現在自宅療養となっております。

函館市保健所は、事業所内には濃厚接触者はいないとの見解でしたので、ワークセンター一条は通常通り事業運営をすることになりました。

事業所としては、全家庭に状況報告を行って体調観察に留意していただき、不安のある職員に関しては自宅待機とPCR検査を実施しております。また、法人独自で支援員全員のPCR検査の準備を進めているところです。

今後どのような状況になるかは予想がつかない部分がありますので、動向を見ながら慎重に対応していきたいと考えています。

このたびの感染者発生により、保護者の皆さま、ご家族の皆さまにはご心配をお掛け致します。

当法人としましては、感染者・濃厚接触者となった方やそのご家族の安全を支えるために、できる限りの努力をさせて頂く所存です。

誰もが感染者、濃厚接触者となる可能性を等しく持っております。感染者の発生に関するいわれなき差別や誹謗中傷、いたずらに個人情報を探る行為等は是非とも慎んでくださいますよう、心よりお願い申し上げます。

社会福祉法人函館一条では、利用者の皆さまとそのご家族の健康、安全を最優先に考え、今後も速やかに情報をお伝えしていきます。改めて利用者、ご家族の皆さま、地域の皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

社会福祉法人 函館一条  
理事長 尾形 永造

ワークセンター一条  
管理者 木田 祥平